

社会資本総合整備計画（防災・安全） 中間評価書

平成29年7月6日

計画の名称	1 安全安心のまちづくりひらつか（防災・安全）																																																																	
計画の期間	平成26年度 - 平成30年度（5年間）	交付対象	平塚市																																																															
計画の目標	道路や各種公共施設などの社会資本は、平常時の利用に供する役割のほか、災害時の避難や物資の運搬などに必要不可欠かつ重要な役割を担っている。しかしながら、多くの社会資本は老朽化が顕著で、通常の利用に支障をきたすのみならず、災害時に求められる役割を担うことが難しい状態になってしまっているのが現状である。それら社会資本を、危険度、重要性の高いものから順次整備するとともに、防災・安全に対する啓発等を実施することで、災害に強いまちづくりを推進し、防災・減災に備え、市民の安全・安心を確保する。																																																																	
計画の成果目標（定量的指標）	1 高齢者や障害者等の移動の安全性の確保と快適性の向上を図る 2 安全で良好な道路サービスを提供するため、老朽化する道路構造物を的確に維持管理することにより、誰もが安心して生活できる持続可能な道路を目指す 3 安全で快適な自転車走行空間の整備により、交通事故の少ない安全で安心して通行できる自転車走行環境の確保を図る 4 通学路の合同点検にて抽出された対象箇所を解消し、安全で安心な通学路の確保を図る 5 広域避難場所として災害時に機能できる公園の再整備 6 公園施設長寿命化計画に基づく対策																																																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 H26当初</th> <th>中間目標値 H28末</th> <th>最終目標値 H30末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-A-1 (バリアフリー整備済路線数/バリアフリー整備対策路線数) × 100</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>33%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-2 幹線道路の望ましい管理水準(MCI 5)の割合</td> <td>83%</td> <td>89%</td> <td>93%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-3 橋梁長寿命化修繕計画に位置付けた橋梁を健全度3以上に保つ割合</td> <td>95%</td> <td>98%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-3 長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の健全な管理水準(対策判定区分「B」以上)を保つ割合</td> <td>56%</td> <td>63%</td> <td>67%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-4 (緊急輸送路及び幹道に架かる耐震補強橋梁数/緊急輸送路及び幹道に架かる橋梁数) × 100</td> <td>48%</td> <td>62%</td> <td>75%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-5 (通学路における対策済箇所数/通学路における対策が必要な箇所数) × 100</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-6 点検を踏まえた修繕の完了数</td> <td>0%</td> <td>60%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-7 自転車ネットワーク整備計画の整備率</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>20%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-8 広域避難所としてのテント等の設営可能な広場・駐車場を整備する</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-9 (平塚市総合公園長寿命化対策施設数/平塚市総合公園長寿命化対象施設数) × 100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-A-10 修繕及び更新等を踏まえた橋梁定期点検の完了数</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 H26当初	中間目標値 H28末	最終目標値 H30末	1-A-1 (バリアフリー整備済路線数/バリアフリー整備対策路線数) × 100	0%	20%	33%		1-A-2 幹線道路の望ましい管理水準(MCI 5)の割合	83%	89%	93%		1-A-3 橋梁長寿命化修繕計画に位置付けた橋梁を健全度3以上に保つ割合	95%	98%	100%		1-A-3 長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の健全な管理水準(対策判定区分「B」以上)を保つ割合	56%	63%	67%		1-A-4 (緊急輸送路及び幹道に架かる耐震補強橋梁数/緊急輸送路及び幹道に架かる橋梁数) × 100	48%	62%	75%		1-A-5 (通学路における対策済箇所数/通学路における対策が必要な箇所数) × 100	0%	50%	100%		1-A-6 点検を踏まえた修繕の完了数	0%	60%	100%		1-A-7 自転車ネットワーク整備計画の整備率	0%	10%	20%		1-A-8 広域避難所としてのテント等の設営可能な広場・駐車場を整備する	0%	0%	50%		1-A-9 (平塚市総合公園長寿命化対策施設数/平塚市総合公園長寿命化対象施設数) × 100%	0%	0%	3%		1-A-10 修繕及び更新等を踏まえた橋梁定期点検の完了数	0%	30%	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																																																													
	当初現況値 H26当初	中間目標値 H28末	最終目標値 H30末																																																															
1-A-1 (バリアフリー整備済路線数/バリアフリー整備対策路線数) × 100	0%	20%	33%																																																															
1-A-2 幹線道路の望ましい管理水準(MCI 5)の割合	83%	89%	93%																																																															
1-A-3 橋梁長寿命化修繕計画に位置付けた橋梁を健全度3以上に保つ割合	95%	98%	100%																																																															
1-A-3 長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の健全な管理水準(対策判定区分「B」以上)を保つ割合	56%	63%	67%																																																															
1-A-4 (緊急輸送路及び幹道に架かる耐震補強橋梁数/緊急輸送路及び幹道に架かる橋梁数) × 100	48%	62%	75%																																																															
1-A-5 (通学路における対策済箇所数/通学路における対策が必要な箇所数) × 100	0%	50%	100%																																																															
1-A-6 点検を踏まえた修繕の完了数	0%	60%	100%																																																															
1-A-7 自転車ネットワーク整備計画の整備率	0%	10%	20%																																																															
1-A-8 広域避難所としてのテント等の設営可能な広場・駐車場を整備する	0%	0%	50%																																																															
1-A-9 (平塚市総合公園長寿命化対策施設数/平塚市総合公園長寿命化対象施設数) × 100%	0%	0%	3%																																																															
1-A-10 修繕及び更新等を踏まえた橋梁定期点検の完了数	0%	30%	100%																																																															
全体事業費	合計 (A + B + C)	5,168.8 百万円	A 4,334.8 百万円 B - 百万円 C 834.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	16.14%																																																													

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	中間評価の実施時期	平成29年7月
中間評価の実施体制	公表の方法	平塚市ホームページ
平塚市において評価を実施		

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-A-1	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	バリアフリー整備事業	点字ブロック、段差解消等	平塚市						100.0	道路整備課
1-A-2	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	舗装修繕事業	舗装修繕	平塚市						1,300.0	道路整備課
1-A-3	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	橋梁長寿命化修繕事業(修繕)	橋梁補修など	平塚市						534.0	道路整備課
1-A-4	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	橋梁耐震補強事業	耐震補強	平塚市						748.9	道路整備課
1-A-5	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	通学路安全確保のための道路環境整備事業	安全対策	平塚市						144.0	道路管理課・教育総務課
1-A-6	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	点検による緊急修繕事業	照明、標識など	平塚市						98.0	道路管理課・道路管理課
1-A-7	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	自転車ネットワーク整備事業	自転車走行空間の整備	平塚市						173.3	道路整備課
1-A-8	公園	一般	平塚市	直接	平塚市	平塚市都市公園等事業	広域避難所として災害時に機能できる公園の再整備	平塚市						400.0	みどり公園・水辺課
1-A-9	公園	一般	平塚市	直接	平塚市	平塚市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策 9施設(平塚市公園施設長寿命化対策支援事業)	平塚市						795.6	総合公園課
1-A-10	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	橋梁長寿命化修繕事業(点検)	橋梁定期点検	平塚市						41.0	道路整備課
									合計					4,334.8	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計						
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-C-1	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	平塚市バリアフリー基本構想策定	平塚市バリアフリー基本構想の策定	平塚市						3.0	交通政策課
1-C-2	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	バリアフリーマップ作成及びバリアフリー基本構想効果検証事業	バリアフリーマップ作成及び効果検証	平塚市						3.0	交通政策課
1-C-3	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	(仮称)平塚市自転車利用環境推進計画策定	自転車利用環境の整備	平塚市						5.0	交通政策課
1-C-4	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	自転車マップ作成及び(仮称)平塚市自転車利用環境推進計画効果検証事業	自転車マップの作成及び効果検証	平塚市						2.0	交通政策課
1-C-5	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	自転車ネットワーク利用推進事業	自転車ネットワークの効果検証及び利用促進	平塚市						4.0	交通政策課
1-C-6	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	交通安全啓発推進事業	交通安全マップの作成	平塚市						1.0	交通政策課
1-C-7	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	道路施設撤去事業	橋梁N=1橋	平塚市						800.0	道路整備課
1-C-8	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	公共サイン整備事業	公共サイン整備による安全対策	平塚市						16.0	まちづくり政策課
									合計					834.0	
D 一体的に実施することにより期待される効果															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-D-1	1-A-1 バリアフリー基本構想の周知、及びバリアフリー整備事業推進の効率化														
1-D-2	1-A-1 バリアフリー箇所の周知、利用者の案内、事業効果の検証														
1-D-3	1-A-7 (仮称)平塚市自転車利用環境推進計画を策定することで、自転車ネットワーク事業推進の効率化を図り、事業効果を高める														
1-D-4	1-A-7 自転車ネットワークの周知、利用者の案内、事業効果の検証														
1-D-5	1-A-7 自転車ネットワークの利用者実態調査及び自転車利用者に対する利用周知を行い、自転車走行空間の利用推進を図る														
1-D-6	1-A-7 全体の交通安全意識を高め、広く、安全な利用促進を図ることで、事故等を防止する														
1-D-7	1-A-4 施設利用者の減少した道路施設を撤去し、第三者被害のリスクの低減を図る														
1-D-8	1-A-1 特定経路等を中心に歩行者系誘導サインを整備することにより、公共施設利用者の施設への誘導性や安全性の向上を図る														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

バリアフリー整備により、高齢者や障害者等の移動の安全性の確保と快適性の向上を図った。
老朽化する橋梁等の道路構造物の点検を実施し、その健全性の診断を基に修繕を実施したことにより、的確に維持管理し、誰もが安心して生活できる持続可能な道路を確保した。
自転車走行空間の整備により、安全で安心して通行できる自転車走行環境を確保した。
通学路の合同点検にて抽出された対象箇所をグリーンベルト等の設置により解消し、安全で安心な通学路を確保した。

定量的指標の達成状況	指標 (1-A-1)	中間目標値	20%	目標値と実績値 に差が出た要因	現場条件等により整備内容に変更が生じ時間を要したため、中間目標値を達成できなかった。今後は、早期に協議を進める等の計画的な事業スケジュールにより、最終目標値を達成できる見込みである。
		中間実績値	13%		
指標 (1-A-2)	指標 (1-A-2)	中間目標値	89%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画通り事業を進めることができたため、中間目標値を達成することができた。
		中間実績値	90%		
指標 -1 (1-A-3)	指標 (1-A-3)	中間目標値	98%	目標値と実績値 に差が出た要因	損傷度合の高い橋りょうを優先的に補修を行ったことにより、計画を前倒して中間目標値を達成することができた。
		中間実績値	100%		
指標 -2 (1-A-3)	指標 (1-A-3)	中間目標値	63%	目標値と実績値 に差が出た要因	詳細設計の結果により補修内容が増加したことにより費用を要したため、計画通りに進めることができなかった。今後は、本事業を重点的に実施することにより、最終目標値を達成できる見込みである。
		中間実績値	61%		
指標 (1-A-4)	指標 (1-A-4)	中間目標値	62%	目標値と実績値 に差が出た要因	詳細設計の結果により設計内容に変更が生じ費用を要したため、中間目標値を達成できなかった。今後は、最終目標値を見直し、本事業を重点的に実施することにより、最終目標値を達成できる見込みである。
		中間実績値	53%		
指標 (1-A-5)	指標 (1-A-5)	中間目標値	50%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画的に整備を行ったことにより、中間目標値を達成することができた。
		中間実績値	55%		
指標 (1-A-6)	指標 (1-A-6)	中間目標値	60%	目標値と実績値 に差が出た要因	点検結果により損傷度合に合わせた補修内容となり、必要としていた以上の費用を要したため、中間目標値を達成することができなかった。今後は、最終目標値を見直し、本事業を重点的に実施することにより、最終目標値を達成できる見込みである。
		中間実績値	27%		
指標 (1-A-7)	指標 (1-A-7)	中間目標値	10%	目標値と実績値 に差が出た要因	ほぼ予定通り事業を実施することができた。
		中間実績値	9%		
指標 (1-A-8)	指標 (1-A-8)	中間目標値	0%	目標値と実績値 に差が出た要因	-
		中間実績値	-		
指標 (1-A-9)	指標 (1-A-9)	中間目標値	0%	目標値と実績値 に差が出た要因	-
		中間実績値	-		
指標 (1-A-10)	指標 (1-A-10)	中間目標値	30%	目標値と実績値 に差が出た要因	点検に時間を要したため、中間目標値を達成することが出来なかった。今後は、本事業を重点的に実施することにより、最終目標値を達成できる見込みである。
		中間実績値	0%		

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

上記の社会資本を、危険度、重要性の高いものから順次整備することで、災害に強いまちづくりを推進し、防災・減災に備え、市民の安全・安心の確保につながった。

3. 特記事項(今後の方針等)

中間評価の際に進捗状況に応じた最終目標値の見直しをした。今後は、最終目標値が達成できるよう1-A-3,1-A-4,1-A-6,1-A-10の事業を重点的に実施することにより事業進捗を図る。

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備計画(防災・安全) 中間評価書

